週刊日本株レポート（7/23～7/27） ～ 円高ドル安圧力を受けて弱含むものの、下値は限定的 ～

2018年7月23日作成

1. 日米株式と円／ドルの推移

＜日本株＞

＜米国株＞

＜円/ドル＞

（注）チャートは過去1年

	単位	2017/12/29	2018/6/29	2018/7/20	過去3年高値		過去3年安値	
		（前年末）	（前月末）	（前週末）	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	22,764.94	22,304.51	22,697.88	24,129.34	2018/1/23	14,864.01	2016/6/24
NYダウ	ﾄﾞﾙ	24,719.22	24,271.41	25,058.12	26,616.71	2018/1/26	15,370.33	2015/8/24
円/ﾄﾞﾙ	円	112.69	110.76	111.41	125.28	2015/8/12	99.02	2016/6/24

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場　先週の振り返り

～ 円安ドル高の進行を受けて上昇したものの、週末、トランプ大統領のドル高牽制発言を受けて円高ドル安に転じたことにより上昇幅縮小 ～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が＋100.53円（＋0.44%）、TOPIXが＋14.91ポイント（＋0.86%）となり円安ドル高の進行を受けて上昇したものの、週末はトランプ大統領のドル高牽制発言を受けて円高ドル安に転じたことにより上昇幅を縮小する展開となりました。業種別（東証33業種）にみると、空運業、石油・石炭製品、陸運業など27業種が上昇する一方、非鉄金属、保険業、ガラス・土石製品など6業種が下落しました。
連休明けの17日は、先々週末から前日にかけて米国株市場が底堅く推移したことや緩やかな円安ドル高が進んだことなどから、上昇して始まりました。その後19日にかけても、パウエルFRB（米連邦準備理事会）議長が議会証言で米国景気に対し楽観的な見方を示し、緩やかな利上げを進めていく姿勢を示したことを背景に米国株市場が上昇したことや113円台まで円安ドル高が進行したことなどから堅調に推移しました。しかし週末20日は、前日にトランプ大統領が米経済専門局とのインタビューでFRBの追加利上げやドル高を牽制する発言を行ったことを受けて円高ドル安に転じたため、下落して引けました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目		前回
7月24日	Tue	日本	40年利付国債入札		
7月25日	Wed	米国	新築住宅販売件数	6月	689千件
		国際	米欧首脳会談（ワシントン）		
7月26日	Thu	日本	2年利付国債入札		
		米国	耐久財受注（前月比）	6月	-0.4%
		欧州	ECB（欧州中央銀行）政策理事会		
7月27日	Fri	米国	GDP（国内総生産）速報値（年率/前期比）	4-6月期	2.0%

決算発表予定　他	日本	決算発表　：　7/24　日立ハイテクノロジーズ、三菱自動車工業　7/25　エムスリー、東北電力、日立建機、信越化学工業、ファナック、オービック、日本電産、LINE　7/26　花王、キヤノン、スタンレー電気、野村ホールディングス、野村総合研究所、富士通、ディスコ、オムロン、富士電機、日清製粉グループ本社、サイバーエージェント、東京エレクトロン、小糸製作所、中外製薬、日産自動車　7/27　アステラス製薬、小田急電鉄、東京ガス、ヤクルト本社、アコム、アルプス電気、コマツ、リコー、MonotaRO、ヤフー、日本ガイシ、東日本旅客鉄道、日立製作所、セイコーエプソン、日野自動車、関西電力、東海旅客鉄道、大日本住友製薬、三井住友トラスト・ホールディングス、信金中央金庫、静岡銀行、ミスミグループ
	海外	決算発表　：　7/23　アルファベット　7/24　ユナイテッド・テクノロジーズ、イーライリリー・アンド・カンパニー、ロッキード・マーチン、ベライゾン・コミュニケーションズ、AT＆T、テキサス・インスツルメンツ　7/25　ノースロップ・コーポレーション、フィアット・クライスラー・オートモービルズ、ザ　コカ・コーラ　カンパニー、ユナイテッド・パーセル・サービス、ゼネラル・モーターズ、ボーイング、ビザ、クアルコム、ギリアド・サイエンシズ、フェイスブック、ペイパル・ホールディングス、フォード・モーター　7/26　マスターカード、ブリストル・マイヤーズ・スクイブ、コムキャスト、アメリカン　ファミリー　ライフ　アシュアランス　カンパニー　オブ　コロンバス、マクドナルド、インテル、アマゾン・ドット・コム、スターバックス、ゼロックス　7/27　メルク、ツイッター、エクソンモービル、シェブロン

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場　今週の見通し

～ 円高ドル安圧力を受けて弱含むものの、下値は限定的 ～

今週の日本株市場は、①トランプ大統領がドル高を牽制する発言を行ったこと、②日銀が金融緩和の副作用軽減策を検討しているとの報道が相次いだこと、③シカゴIMM通貨先物の投機筋の円ショートポジションが拡大し始めていたことなどから、円高ドル安圧力を受けて弱含む展開を予想します。但し、①トランプ大統領の追加利上げ牽制発言を受けて、FRBは独立性の観点から米国経済が堅調に推移している間は逆に利上げを見送ることが難しくなったこと、②日銀は金融政策の見直しによって円高ドル安が進むことは出来る限り回避するとみていることから、円高ドル安圧力は短期的なものに留まると考えます。また、4-6月期の決算発表が本格化する中、企業業績の底堅さが確認されるとみていることやバリュエーション面で割安感があることなどから、下値は限定的と考えます。
米国では25日の新築住宅販売件数や26日の耐久財受注、27日のGDP、欧州では26日のECB政策理事会、国際では25日の米欧首脳会談などが挙げられます。

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co.,Ltd.
URL：http://www.alamco.co.jp
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第301号
加入協会：一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント（以下、「当社」といいます。）が、投資の参考となる情報提供を目的として作成したもので、特定の商品に対する投資勧誘を意図するものではありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。資料中に記載されたグラフ、数値等は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、コメントについては作成日時点での判断であり、将来予告なく変わることがあります。最終的な投資決定はお客様ご自身の判断でなさるようにお願いいたします。

1807161